



田多講師(中央)の話に聞き入る参加者



講師が嫁姑に扮して認知症問題を演ずる

認知症を 正しく知ろう！ 認知症サポーター養成講座

役員と全職員が受講 ～11月27日～

テレビや新聞で認知症関連の出来事がよく報道されますが、超高齢社会を突き進む我が国にとって、今や最重要課題の一つとなっています。

その認知症について、正しい知識をもつため11月27日の理事会終了後に、理事と全職員が「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

講師の田多文弥さんの話によると、羽咋市の人口に占める65歳以上の割合、つまり高齢化率は37.0%。全国平均の27.3%を大きく上回っています。

対応の難しいテーマですが、認知症は誰にも起こりえます。

誰もが認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支える手立てを知っていれば「尊厳ある暮らし」を皆で守ることができます。

◆認知症に関する **羽咋市地域包括支援センター ☎22-0202**
相談窓口 (市役所の1階、8番の窓口)

期間

12月11日～20日

年末の交通安全県民運動実施中！

被害者にも加害者にも
なりたくありません。

寒い毎が続きますが、現在、県下一斉の「年末の交通安全県民運動」を実施しています。

石川県内では、一昨年、かほく市内で派遣会員が帰宅途中に車にはねられて死亡、先月には白山市内で派遣会員の運転する車による死亡事故が発生しました。

自動車は今では生活に欠かせない移動手段です。

それゆえに、いつ被害者に、あるいは加害者になるかもしれません。

日頃から交通安全を意識して、安全運転を心がけましょう。



運動の重点

- ◆ 高齢者の交通事故防止（北陸三県統一）
- ◆ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ◆ 飲酒運転の根絶
- ◆ 冬道の安全走行の徹底
- ◆ すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

「ム」チャするな
「ジ」カンにゆとり
「コ」コロのよゆう } **ムジコの誓い**
(無事故)

安全運転ひと筋に歩みつづけた13年



12月のある日、千路町の「とき保育園」の正面駐車場に、帰宅する園児を乗せた通園バスが待機していました。

ハンドルを握るのは、小松猷章さん(尾長町)。平成16年の秋に入会して以来、瑞穂小学校のスクールバスや市役所の文書配送など、主に運転業務をしてきました。

「冬の凍結時は、特に慎重な運転を心がけているよ。」

孫たちのような可愛い園児たちを乗せて、安全第一にハンドルを握り続けた小松さんは今月でその役目を終えます。お疲れ様でした。

派遣会員の皆さんへ ~大切なお知らせ~

シルバー派遣により就労する場合は、下記の点に留意してください。

- 1 仕事は、前もって取り決めた仕事だけをしてください。
 - ・ 仕事内容が増えたり、変更する場合は、事前に連合会またはセンターから書面でお知らせします。
 - ・ 派遣先の会社から、契約以外の仕事を指示された場合は、すぐにセンターへ連絡してください。
- 2 契約期間を遵守しましょう。
 - ・ 契約期間の開始前または終了後に作業しても、その分は契約外のため賃金請求はできません。
 - ・ 万一、事故が発生しても労災の対象となりません。
- 3 マイナンバーの提出はお済みですか？
 - ・ 連合会からマイナンバーの提出を求められたら、早めに提出しましょう。

一流メーカー タニザワ製

「安全ヘルメット」販売中！

※数量限定

- ①高い通気性で頭部のムレを抑える。
- ②遮熱加工で暑さに強い。
- ③二重構造により雨水の侵入を防ぐ。



県シルバー連合会の各種講習会で使用しているタイプです。今回、下記の2タイプを10個ずつ、計20個ご用意しました。ご希望の方は、事務局まで。



無地タイプ 3,900円



マーク付き 4,100円

特価(定価から約45%引き) いずれも消費税込み。

当センターの
今年度の事故発生状況

※平成29年9月10日以降発生

No.	事故発生日	事故区分	事故のあらまし
8	9月 8日	傷害 (工作中)	柚子の木を剪定中に、チャドクガに刺されて右腕から肩、胸、腹にかけて皮膚炎を発症。
9	10月 5日	傷害 (工作中)	ツツジを剪定中に、突然飛来した蜂に右手人差し指を刺された。

連合会
主催

「衛生委員会」 派遣労働の安全問題を審議

第6回 10月26日(木) 出口副理事長出席

- 1 労災事故の報告 ※派遣労働のみ。
 - ①就業中 2件 ③通勤途上 発生なし
- 2 審議事項・・・インフルエンザ対策
 - ・高齢者のインフルエンザは重症化しないよう注意が必要。
- 3 高年齢労働者の安全対策について
 - ・若い頃に比べると、平衡機能や聴力、視力、瞬発反応が低下していることを理解して行動することが必要。
 - ・年齢層が上がるほど重症化する。

第7回 12月 7日(木) 出口副理事長、東渡事務局長出席

- 1 労災事故の報告 ※派遣労働のみ。
 - ①就業中 1件 ③通勤途上 発生なし
- 2 審議事項・・・冬期転倒防止対策
 - ・冬期は積雪・凍結などの転倒災害が増える。
 - ・前年度の転倒災害は4件。うち3件は通勤途上。
 - ・「余裕を持って、急がず、短い歩幅で歩く」
- 3 県内で多発するシルバー会員による労災事故
 - ・前年同時期と比較すると、民間派遣会社の倍の事故が発生しており、高齢者団体という点を考慮しても問題となっている。

《県内シルバーの派遣会員による事故》10月以降発生

発生日	年齢・性別	事故の内容
10月25日	男、67歳	車いすを車両に積み込むため持ち上げた時に腰を痛めた。
10月30日	男、70歳	刈払機を使って草刈中に、石を跳ね飛ばしてしまい、車のガラスを割った。
11月 6日	男、64歳	電動ノコギリを使ってコンパネを切断中に誤って指を切った。

仕事中的大ケガや重大事故が発生したら！

緊急電話

夜間・休日
専用

080-5854-4949

至急！至急！

※小さな事故やケガの場合は、従来通り休み明けに事務局(22-2700)へ電話してください。

編集後記

この一年、会員の皆さんに大きな事故もなく、安堵しています。

来年も良い年でありますよう願っております。

安全・適正就業委員会 委員長 川浪和雄
委員一同